新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里機関紙　　令和５年10月１日発行

# シジュウカラ　第105号

もくじ

1ページ　・初収容のハリオアマツバメ
2ページ　・アカショウビンの収容事例が語ること
3ページ　・イベント案内（11～3月）
　　・イベント報告（4～8月）
4ページ　・傷病鳥獣の収容状況（4月～7月）
　　・愛鳥センター利用案内

ホームページもチェックしてね

愛鳥センターHP
QRコード

**表紙の写真　　愛鳥センター初収容のハリオアマツバメ**

令和５年７月12日に津南町下船戸丁地内で保護され、７月15日に収容されました。かなり痩せている状態で、喉に裂傷がありました。トンボなどの昆虫を与えて飼育していましたが、７月21日に死亡しました。

ハリオアマツバメは非常に長い翼を持っていて、空中生活に適応した鳥です。収容されることは珍しいですが、新潟県内では春・秋の渡りの時期を中心に観察することができます。飛翔する姿はとてもカッコいいので、ぜひ野外で飛ぶ姿を見てほしいです！

この個体は飛翔形の剥製になって展示室で飛んでいますので、こちらもぜひ見に来てください。

## アカショウビンの収容事例が語ること

今年も収容されたアカショウビン

アカショウビンは、さえずりはよく聞くのに、姿をなかなか見ることができない鳥のひとつです。趣味の登山では毎年アカショウビンのさえずりを聞いているし、前の職場では執務室の椅子に座っていても、夏になると必ずさえずりが聞こえてきました。そして、やっと山の中でアカショウビンの姿を見ることができたのは、今年６月の高坪山でした。

ところが、愛鳥センターに勤めてみると毎年アカショウビンが収容され、アカショウビンを間近に見ることができます。そこで、100 号のオオミズナギドリに続き、アカショウビンの収容事例をまとめてみました。

愛鳥センターの年報には、鳥ごとに月別収容数が記録されています。愛鳥センターが開館した 1990 年から 2022 年までの 33 年間で、アカショウビンが収容されなかった年度は 1994 年、2010 年、2018 年の３年だけで、他の年度は１羽から 14 羽収容されていました（図１）。年度別の収容数では、３羽が最も多く 10 年で、次いで２羽が７年でした。

33 年間の合計収容数は 118 羽で、月別では９月が 44 羽と最も多く、６月の 34 羽、８月の 30 羽と続いています（図２）。

次に保護された記録を 2002 年から 2022 年までの 21 年間の診療簿で詳しく調べてみると、最も早い保護は 2022 年５月７日の阿賀町、最も遅い保護は 2020 年 10 月 11 日の阿賀野市でした。新潟県内における 10 月の確認は初めてかもしれません。

保護された市町村では新潟市が最も多く、83 羽中 28 羽（33.7%）を占めていました。新潟市は繁殖地ではなく、渡りで通過するルートと考えられます。新潟市におけるアカショウビンの保護は、５月中旬から６月上旬までと、８月下旬から９月下旬までの大きく２つに分かれており（図３）、この時期にアカショウビンが渡りで新潟市を通過することがわかります。また、佐渡で２回（2003 年９月４日、2009 年５月 21 日）、粟島で１回（2008 年８月 31 日）、アカショウビンが保護されています。

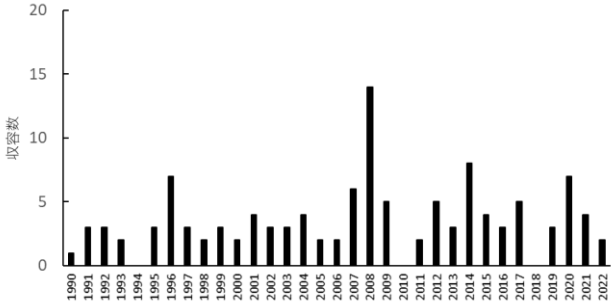


図１　アカショウビンの年度別収容数

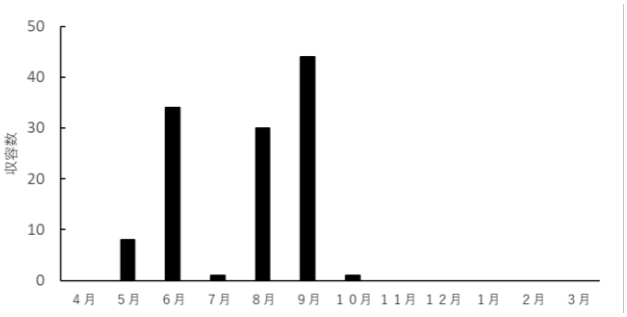


図２　アカショウビンの月別収容数（1990 年～2022 年）

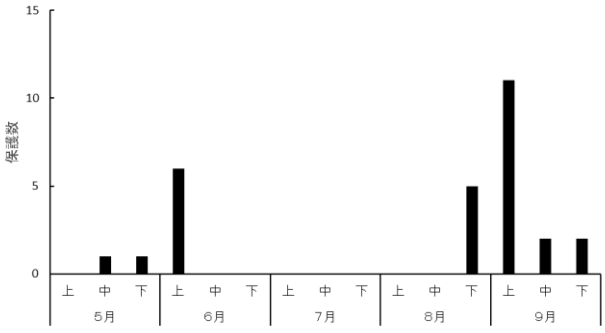


図３　新潟市におけるアカショウビンの旬別保護数
（2002 年～2022 年）

繁殖期のアカショウビンの生息分布状況は、新潟県野鳥愛護会によって調査・報告されています。愛鳥センターの収容事例は、新潟県におけるアカショウビンの渡来期間や渡りの時期など、これまでの調査を補足する貴重なデータと言えそうです。

## 11月～3月イベント案内

参加費は無料です。
内容が変更または中止になる場合がありますので、HP 等で最新の情報をご確認ください。

**愛鳥講演会**　申込受付開始 10/1～
テーマは「猛禽類の保全」です
日時：11 月 23 日（木・祝）13:00～15:00
会場：県立生涯学習推進センター　1 階　ホール
　　新潟市中央区女池南 3-1-2
定員：95 名
演題「世界の鳥と自然環境」
講師：環境省 猛禽類保護センター
　　萩田　小夏　氏
申込み締切：11 月 19 日（日）
　　または定員に達し次第

住所・氏名・電話番号・年齢を明記して、電話、はがき、FAX、E-mail でお申し込みください。愛鳥講演会はホームページ電子申請からも申込みできます。

**探鳥会・観察会**　申込受付開始 11/1～

**〇弁天潟初心者バードウォッチング**
日時：12 月 10 日（日）8:00～10:00
場所：弁天潟風致公園（聖籠町）
集合：弁天潟風致公園駐車場　定員：20 名

**〇足跡ウォッチング**
日時：1 月 21 日（日）9:00～11:00
場所：愛鳥センター周辺
集合：愛鳥センター　定員：20 名

**〇愛鳥センターバードウォッチング**
日時：3 月 10 日（日）9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺
集合：愛鳥センター　定員 20 名

**特別展**

**★令和 6 年度愛鳥週間用ポスター原画募集新潟県大会入賞作品展**
　9 月 22 日（金）～10 月 22 日（日）

**★冬季特別展「ホネくらべ（再）」**11 月 4 日（土）～2 月 12 日（月・祝）
昨年度の冬季特別展「ホネくらべ」は、鳥インフルエンザの防疫対策に伴う臨時休館で期間が短くなってしまったため、今年度は内容を少し追加修正して展示します。
**★野鳥写真展**　2 月 17 日（土）～5 月 5 日（日）

## 4月～8月イベント報告

4 月 22 日（土）、4 月 29 日（土）に予定していた初心者バードウォッチングは鳥インフルエンザの防疫対策で臨時休館のため中止しました。

**◆愛鳥センターバードウォッチング**
日時：令和 5 年 5 月 13 日（土）9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺
参加者：8 名　天気：くもり
観察種：20 種

**◆初心者樹木観察会**
日時：令和 5 年 6 月 4 日（日）13:30～15:00
場所：愛鳥センター
参加者：9 名　天気：晴れ

**◆野鳥保護の集い**
日時：令和 5 年 6 月 10 日（土）14:00～15:00
場所：愛鳥センター　参加者：24 名
演題：「新潟県における
　　ヨシゴイ・バン・ヒクイナの生息状況」
講師：新潟県野鳥愛護会副会長　山田　清　氏

**◆工作教室**
日時：令和 5 年 7 月 30 日（日）
　　13:30～15:00
場所：愛鳥センター　参加者：4 名

**◆昆虫観察会**
日時：令和 5 年 8 月 5 日（土）
　　9:00～10:30
場所：愛鳥センター周辺
参加者：6 名

**◆巣箱作り教室**
日時：令和 5 年 8 月 19 日（土）13:30～16:00
場所：愛鳥センター
参加者：7 組 15 名

## 令和５年４月～令和５年７月の傷病鳥獣収容結果

| 収容NO. | 種類 | 3月末収容数 | 収容数 | 放鳥獣 | 返還譲渡 | 死亡 | 7月末収容数 | 収容NO. | 種類 | 3月末収容数 | 収容数 | 放鳥獣 | 返還譲渡 | 死亡 | 7月末収容数 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| （鳥類） | | | | | | | | | ハヤブサ | 1 | | | | | 1 |
| 1 | キジ | | 2 | | | 2 | 0 | 14 | オナガ | | 2 | | | 1 | 1 |
| 2 | コハクチョウ | 6 | 2 | | 2 | 3 | 3 | 15 | ハシボソガラス | 3 | 1 | | | | 4 |
| 3 | オオハクチョウ | 1 | 1 | | | 1 | 1 | 16 | ハシブトガラス | | 2 | | | 2 | 0 |
| 4 | カルガモ | | 1 | 1 | | | 0 | 17 | シジュウカラ | | 1 | 1 | | | 0 |
| 5 | キジバト | | 1 | 1 | | | 0 | 18 | ツバメ | | 8 | 4 | | 4 | 0 |
| | アオバト | 4 | | | | | 4 | 19 | ヒヨドリ | | 2 | | | 2 | 0 |
| 6 | アオサギ | | 1 | | | 1 | 0 | 20 | オオヨシキリ | | 1 | | | 1 | 0 |
| 7 | ハリオアマツバメ | | 1 | | | 1 | 0 | 21 | ムクドリ | | 13 | 3 | | 10 | 0 |
| | ムナグロ | 1 | | | | | 1 | 22 | イソヒヨドリ | | 1 | | | 1 | 0 |
| 8 | ウミネコ | 2 | 3 | 1 | | | 4 | 23 | スズメ | | 5 | | | 5 | 0 |
| 9 | トビ | 10 | 1 | 1 | | | 10 | 24 | ハクセキレイ | | 7 | 1 | | 5 | 1 |
| 10 | サシバ | 2 | 1 | | | 1 | 2 | 25 | カワラヒワ | | 4 | 2 | | 2 | 0 |
| | ノスリ | 2 | | | | | 2 | 小計 | | 39 | 66 | 16 | 2 | 46 | 41 |
| | クマタカ | 1 | | | | | 1 | （獣類） | | | | | | | |
| 11 | フクロウ | 2 | 1 | | | 2 | 1 | | ハクビシン | 1 | | | 1 | | 0 |
| 12 | トラフズク | | 3 | 1 | | 2 | 0 | 1 | ノウサギ | | 1 | | | 1 | 0 |
| 13 | チョウゲンボウ | 4 | 1 | | | | 5 | 小計 | | 1 | 1 | 0 | 1 | 1 | 0 |
| | | | | | | | | 合計 | | 40 | 67 | 16 | 3 | 47 | 41 |

令和５年４月１日～７月 31 日までの収容数は、鳥類 25 種 66 羽、獣類１種１頭で、昨年度の同時期（鳥類 156 羽、獣類２頭）と比べ鳥類は減少、獣類は増加した。

※令和５年４月１日～５月６日は鳥インフルエンザの防疫対策のため収容不可

≪特記事項≫　ハリオアマツバメ　センター収容初記録。詳細は表紙をご覧ください。

測定値：全長 207.5mm　自然翼長 205mm　翼開長 512mm　尾長 50.5mm　露出嘴峰長 8.8mm　ふしょ長 17.5mm　体重 106.8g（収容時）

## 利用者数

※令和５年２月 10 日～５月８日は鳥インフルエンザの防疫対策のため臨時休館

| 月 | ４月 | ５月 | ６月 | ７月 | 計 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 来館者数 | 0 | 350 | 419 | 265 | 1,034 | 646,743 |
| 相談件数 | 32 | 72 | 82 | 76 | 262 | － |

### 館内設置のトキ募金箱の報告

令和５年４月～令和５年７月　2,425 円　累計　320,347 円

皆様の善意に深く感謝いたします。今後とも御協力をお願いします。

**新潟県愛鳥センター紫雲寺さえずりの里**

開館時間：午前９時～午後４時

休館日：月曜日（月曜日が祝日の場合は翌平日）

〒957-0231　新発田市藤塚浜海老池

Tel：0254-41-4500　Fax：0254-41-4501

HP：https://www.pref.niigata.lg.jp/site/aicho/

E-mail：ngt031210@pref.niigata.lg.jp